

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	非結核性抗酸菌症の予後予測因子について
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>対象者：当院に通院中で、肺非結核性抗酸菌症と診断された症例。</p> <p>対象期間：承認日～2025年03月31日</p> <p>研究責任者：呼吸器・感染症内科 教授 菊地利明</p>	
③概要	
<p>肺非結核性抗酸菌症は増加傾向にありますが、軽症で経過観察で済む場合と、症状が軽いとはいえ治療が必要な場合に別れ、その違いを見分ける方法が今はありません。そのため、その患者さんのたんから検出された菌を分析し、経過が良い人とそうでない人のどこに違いがあるか、調べるのが目的です。</p>	
④申請番号	2020-0285
⑤研究の目的・意義	今回の研究により、あらかじめ重症化しやすい菌が原因と分かれば、治療が必要かどうか適切に判断できるようになることが期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている肺非結核性抗酸菌症と診断を受けた患者さんの病歴、血液検査結果、胸部レントゲン写真（CT含む）を利用させていただきます。また、患者さんから得られた菌を分析しますが、以前より検査室に保存されていた菌を使用する場合があります。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	検出された菌をさまざまな方法で分析します。 もとの患者さんの年齢、性別、レントゲン写真や血液検査の結果を確認します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学 呼吸器・感染症内科 教授 菊地利明
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 准教授 茂呂寛
お問い合わせ先	<p>所属：新潟大学医歯学総合病院 感染管理部</p> <p>氏名：茂呂 寛</p> <p>Tel：025-368-9325</p> <p>E-mail：hmoro@med.niigata-u.ac.jp</p>

※オプトアウト書式は、倫理システムの申請画面末尾の添付資料欄に掲載すると共に、承認後は

「④」に申請番号（承認番号）を記載のうえ、[ethics@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:ethics@adm.niigata-u.ac.jp) に原稿をお送り  
ください。ホームページに掲載いたします。

は、ヤフーなどのフリーメールアドレスの使用は避けてください。